

パワーウォッチ

POWER Watch

2019年7月号 No.106 July 定価:850円(税込) <https://www.powerwatch.jp> 奇数月30日発売

編集部がバーゼルで発見

いま注目すべき
未上陸ブランド



注目作が目白押し

実力派
ジャパンブランド

年々その存在感を増す
ドイツ時計の
新作に大注目



面白いのは、いまや
バーゼルだけじゃない!

黒青ツートンに
ジュビリーブレス登場

全方位チェック **2019**

注目の最新作

**BB-01 オートマティック
カタコンベ (仮称)**

ベースとなっているコレクションは昨年発表されたBB-01だが、モデル名にもある通り、自動巻きムーブメントを搭載し、カタコンベ（イタリア語で地下墓所）をデザインに取り入れたモデル。時計を正面から見る限りはそれほど主張しないが、ケースサイドはまさにカタコンベさながら、全体をスカルヘッドのモチーフで埋め尽くした、デコラティブなケースを採用。さらに文字盤中央のスポーク状の装飾もよく見ると骨を組み合わせたデザインとなっている。なお、写真は新作発表時のサンプルのため、ブラックのガルーシャ柄型押しカーフベルトが装着されているが、製品版では差し色となっているレッドのガルーシャ柄型押しカーフベルトとなる予定。

■Ref.CT43APBA.25-2.11. SS（ブラックPVD加工、43mm径）。50m防水。自動巻き（Cal.SW 200ベース）。24万3000円（予価）



8月
発売予定

さりげなくブラックスケルトンダイアルを採用

よく見ると文字盤はブラックスケルトン仕様になっており、搭載ムーブメントの一部が透けて見える。この効果で、文字盤の装飾がより際立ち、デザイン的に立体感を巧みに演出している。ちなみにドットで構成された特徴的なディテールは、メキシコの奇祭として有名な“死者の日”でよく見られるカラフルなスカルに用いられるデザインにインスパイアされたもの



ケースサイドを埋め尽くすスカルヘッドモチーフ。これは後付けされたものではなく一体成型されたもの。また、眼の窪み部分はレッドのスーパーラミネーションが施されている。写真はサンプルのため、ただのペイントとなっているが、製品版ではレッドの夜光塗料が施される予定



VARIATION MODEL

こちらは上に掲載したBB-01 オートマティック カタコンベのカラーバリエーション。アクセントカラーにグリーンを採用。こちらも製品版ではベルトはグリーン色のガルーシャ柄型押しカーフ、スカルの眼の凹み部分もグリーンの夜光が施される。■Ref.CT43APBA.25-3.11. SS（ブラックPVD加工、43mm径）。50m防水。自動巻き（Cal.SW 200ベース）。24万3000円（予価）

CLOSE UP BRAND **ボンバーグ**

BOMBERG

☎ユーロパッション
☎03-5295-0411

昨年は、着ける人を選ばないカジュアルなデザインと手に取りやすい価格のエントリーコレクションを充実させたボンバーグ。今年は、ビビッドなカラーリングやスカルをモチーフにしたデザインなど、人気を支えてきた力強く押し出しの強いボンバーグらしい新作が復活。また、機械式の新作が充実したのも、時計好きにはうれしいポイントだ。

**ボンバーグらしい
個性派がカムバック!**



直線的モチーフがスポーティな雰囲気

こちらはマット仕上げのスチール素材にガンメタルPVD加工を施したホイールモチーフを文字盤に配置。ケースサイドの装飾はシンプルなブロックパターンをデザイン。また、ベルトを取り付けるラグはケースとは別体構造になっている

BB-01 オートマティック ホイール(仮称)

こちらも新作として投入されたBB-01のオートマティックのひとつ。こちらはズバリ、ホイール(車輪)がデザインモチーフとなったモデル。パンチング加工された2層のラバーベルトと相まってスポーティな印象に仕上がっている。この仕様もかなり魅力的だが、こちらやはりサンプルモデルのため、実際の製品版ではラバーベルトではなくガルーシヤ柄型押しカーフベルトに変更される予定だという。なお、写真のブラックPVDケースモデルはグリーンのほか、ブルーとブラックもバリエーションとしてラインナップ。通常のスチールモデルはレッドとブルーモデルがラインナップされている。

■Ref.CT43APBA.21-2.11。SS(ブラックPVD加工、43mm径)。50m防水。自動巻き(Cal.SW 200ベース)。19万4400円(予価)

7月 発売予定

スカルを主張したボンバークらしい意匠



ほぼ製品版に近いサンプルだったため、暗所では写真(右)のようにスーパールミノバが使用されたスカルヘッドとドットインデックス、そして時分針がグリーンに発光する。ケースサイドに施されるモチーフはスカルヘッドと炎との組み合わせだ

BB-01 オートマティック スカルヘッド(仮称)

文字盤を見れば一目瞭然、大胆にもスカルヘッドモチーフを大きくあしらったかなり個性的なモデル。このモデルについてはほぼ完成形に近く文字盤に描かれたスカルヘッド、そしてドットインデックスにはスーパールミノバが使用されており、暗間でグリーンに発光する。ただし、やはりベルトはサンプル版のため、シンプルなカーフベルトとなっているが、製品版では炎をデザインしてデコラティブなスティングレー柄型押しカーフベルトとなる予定だという。こちらもバリエーションが用意されており、写真のブラックモデルのほか、レッドとブルーのモデルがラインナップされる。

■Ref.CT43APBA.23-3.11。SS(ブラックPVD加工、43mm径)。50m防水。自動巻き(Cal.SW 200ベース)。21万6000円(予価)

